

【第5回小高区義務教育学校設立検討準備協議会の 論点について】

1. 協議事項（1）「第4回協議会資料2・3」に基づく主な協議 事項（論点）

論点①「なぜ学校の形を変える必要があるのか」について

「なぜ学校の形を変える必要があるのか」という根本的な問いに対し
て、本資料の内容で学校の形を変える必要性が理解できるか。

- 「小中一貫教育（義務教育学校）の有効性」について、本資料で納得できるか。
- 「学校の形を変える必要性」や「施設一体型義務教育学校とすることの意義」について、本資料で納得できるか。

論点②「新しい学校は、どんな学校になるのか」について

「新しい学校は、どんな学校になるのか」という問いに対して、本資料の内容で新しい学校の基本的なイメージを抱くことができるか。

- 他自治体の施設一体型義務教育学校の事例から、新しい学校での「9年間の一貫教育における教育活動」について、本資料からイメージができるか。



2. 協議事項（2）「資料5」に基づく主な協議事項（論点）

論点①「新しい学校は、どんな学校になるのか」について

「新しい学校は、どんな学校になるのか」という問いに対して、保護者より多く寄せられた不安や懸念の項目について本資料の内容で、他自治体の義務教育学校はどのような対応をしているか理解できるか。

- 他自治体の施設一体型義務教育学校の事例から、保護者における施設一体型義務教育学校への不安や懸念について、他自治体の義務教育学校はどのような対応をしているか理解できるか。

論点②「新しい学校における特色の検討方法」について

「新しい学校は、どんな学校になるのか」という問いに対して、前回説明した「義務教育学校で実現したい目指す姿」を育てるためにどのような方法で特色を検討していく考えなのか理解できるか。

- 前回説明した「義務教育学校で実現したい目指す姿」をR3.4月に小高小学校が再編統合した際の事例を参考に、どのような方法で特色を検討していく考えなのか理解できるか。



3.協議事項（3）「資料6」に基づく主な協議事項（論点）

論点①「小高小学校・小高中学校の施設の検証に基づく新しい学校の位置の検討」について

施設一体型義務教育学校へ再編する際の学校の位置を判断する際に現時点で足りない視点がないか。

- 「市教委が施設一体型にする際に小高小学校が望ましいとする理由」や「施設一体型義務教育学校とする際の位置」について、理解・判断できる資料になっているか。